

## ■ 阪神高速グループの求める技術 重点項目

【タイトル】：河川堤防内の構造物周りで検知された水みちを補修する技術 (地盤内の空隙をピンポイントで埋める技術)
【背景・課題】： 水みちを発見した後の補修方法には開削して埋めなおす、といった大掛かりな手法しか存在していない。淀川左岸線のような大河川を開削することは基本的に難しいことを考えると、左岸線を維持管理するうえでの大事な補修方法が無いに等しい状況と言える。
【ゴール・目標】： 河川堤防を開削することなく、堤防の損傷原因となる水みちを補修することで、堤防内の構造物の安全性を確保することにつながる。
【実現イメージ】： ・最高レベルの安全性と走りやすさが備わった高速道路
【取組み】： ・最新技術による点検・診断や新素材・新工法の採用による補修・補強
【対象設備－対象構造物】： ・土工・トンネル – トンネル
【業務分野】： ・建設・更新

(2022年9月時点)